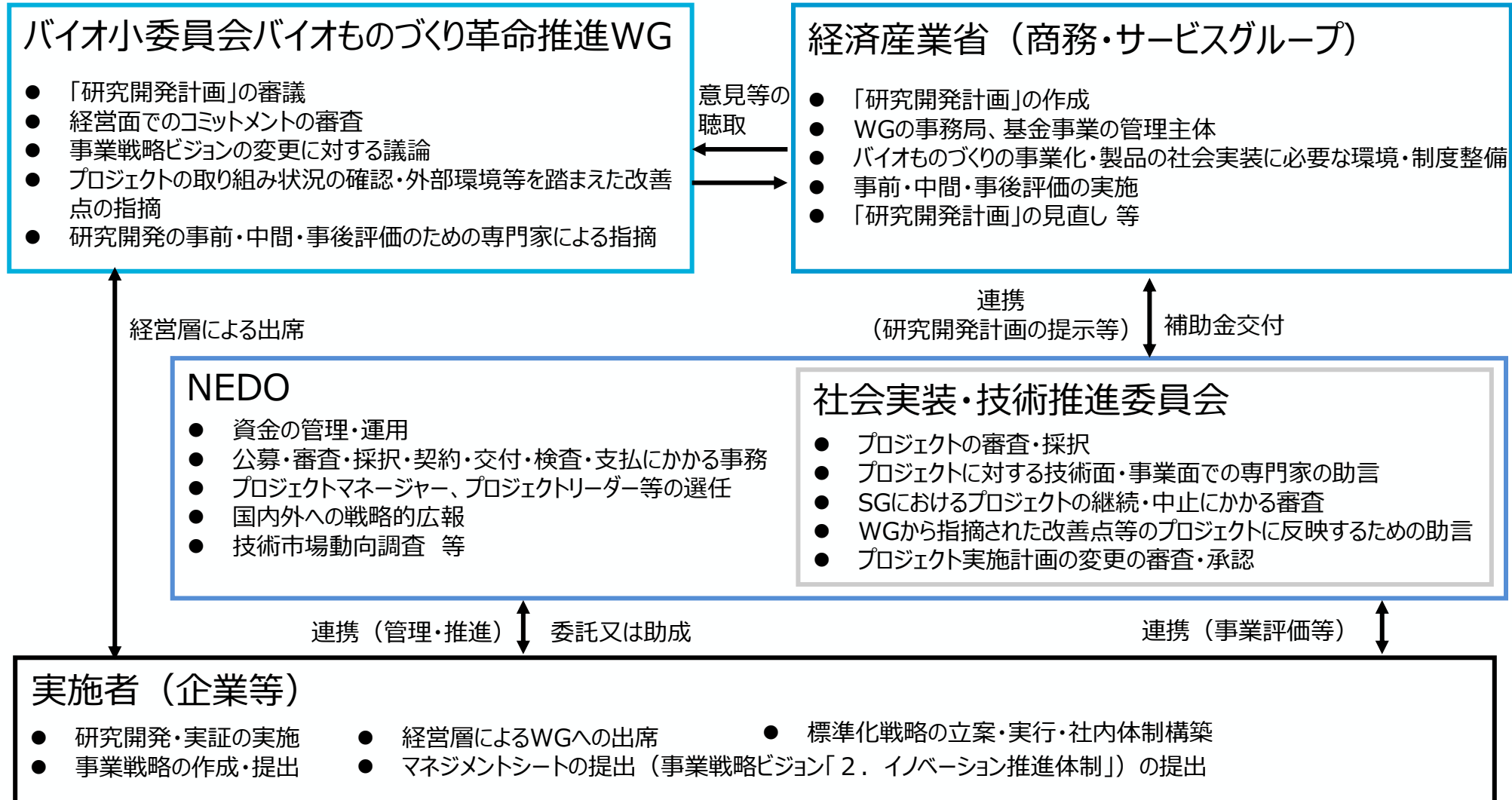


バイオものづくり革命推進事業 研究開発計画の見直しについて

2026年5月28日

経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課

(参考) 本事業推進にかかる各主体の役割



採択案件のモニタリングについて

バイオものづくり革命推進ワーキンググループ（以下、「WG」という。）では、バイオものづくりの全体像を踏まえた、社会実装に必要な事業内容等の検討を行うことに加えて、**採択プロジェクトを担う企業の経営層との対話を通じた、指導・助言を行う**こととしている。

（参考抜粋）

バイオものづくり革命推進事業研究開発計画（第4版）（抜粋）

4. 成果最大化に向けた仕組み

(4) 経営層のコミットメントの取得

本事業における主要な企業等の経営層は、毎年度、外部の専門家等から構成される経済産業省 産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会 バイオものづくり革命推進ワーキンググループ（以下、「WG」という。）へ出席し、事業戦略ビジョンに基づき、事業推進体制における工夫やプロジェクトの取り組み状況、今後の展望等を説明する。

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループの設置について（抜粋）

2. 主な審議内容

- (1) バイオものづくりの全体像に係る議論
- (2) 研究開発計画の研究開発項目、事業のアウトカム・アウトプット、スケジュール等の議論
- (3) プロジェクト実施企業等の経営層との対話を通じた、指導・助言
- (4) プロジェクトの取組状況の確認・改善点の指摘、部会への報告等

研究開発計画の見直しについて

- 本WGでは事業者に対し、事業に対する経営面でのコミットメント等について確認し、採択されたプロジェクトの取り組み状況の確認・外部環境等を踏まえた改善点を指摘している一方で、近時、外部環境の変化等を背景とし、事業計画の変更の申し出が複数の事業者からなされている状況。
- こうした状況を踏まえ、各プロジェクトをより効果的に推進し、社会実装をより確実にする観点から、WGにおいても社会実装・技術推進委員会が有する「プロジェクトの継続・中止にかかる審査」に係る権能を付与することが望ましいのではないかと。
- その上で、毎年度開催している本WGにおいて、プロジェクトを担う事業者の経営層との対話を踏まえた上で、経営層による本事業への関与の度合い、経営戦略上の位置づけ、事業推進体制の確保状況といった観点（経営面でのコミットメント）から評価を行い、不十分であると判断される場合には、**本WGが当該プロジェクトの中止や停止を決定できる**ようにしてはどうか。

(参考)

上記の権能を付与する場合、

- ・ バイオものづくり革命推進事業 研究開発計画
- ・ 産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループの設置について

の両文書について見直す必要。